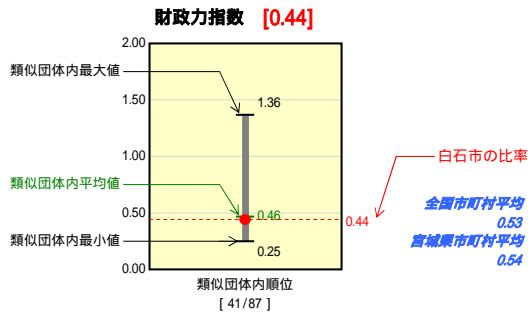


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

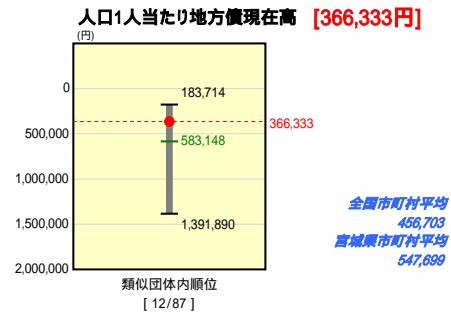
## 宮城県 白石市

人口	39,264	人(H19.3.31現在)
面積	286.47	km <sup>2</sup>
歳入総額	14,873,252	千円
歳出総額	14,431,449	千円
実質収支	428,049	千円

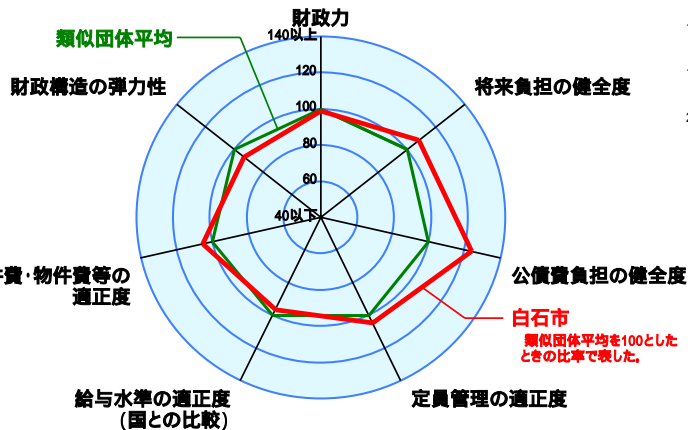
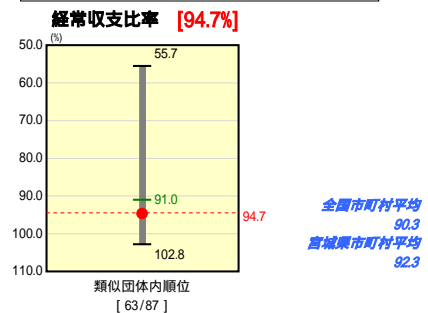
### 財政力



### 将来負担の健全度

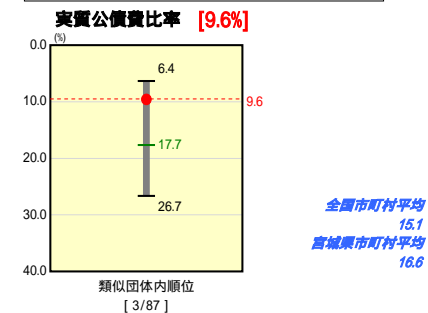


### 財政構造の弾力性

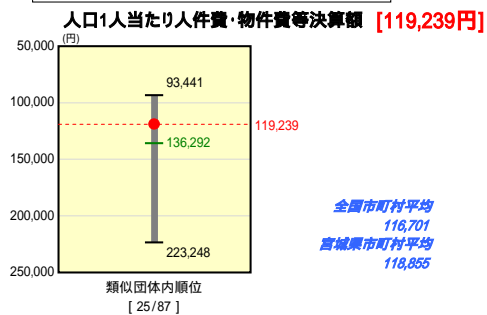


類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 公債費負担の健全度

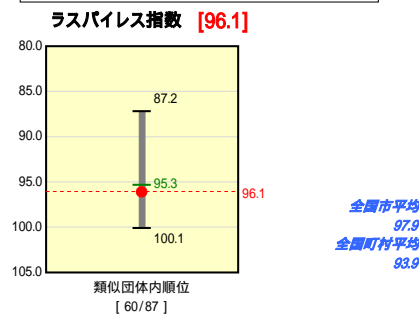


### 人件費・物件費等の適正度

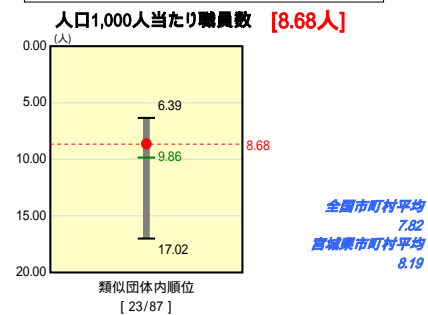


人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 給与水準の適正度 (国との比較)



### 定員管理の適正度



### 分析欄

#### 財政力指数

・人口の減少や25%を超える高齢化率(平成18年度末26.0%)に加え、企業が撤退するなど景気低迷により0.44と類似団体平均を若干下回っている。定員適正化計画による人件費の削減や事業の見直しなどにより歳出削減を実施するとともに、市税等収納率の向上など自主財源確保に取り組み、財政の健全化を図る。

#### 経常収支比率

・地方債の一括償還による公債費の増加により前年度から9.3ポイントも上昇し94.7%と類似団体平均を上回った。公債費の増加は一時的なものであるが、近年扶助費が増加しているため、白石市行政改革推進計画に添った取り組みとおして経常的経費の削減に努める。

#### 人口1人当たりの人件費・物件費

・類似団体平均を下回っている。今後も同水準を保つように、白石市行政改革推進計画などにより、人件費、物件費などの削減に努める。

#### ラスパイレス指数

・全国平均を1.8ポイント下回り、類似団体平均とは0.8ポイント差であることから、ほぼ適正な水準であると考えられるが、今後も引き続き各種手当の総点検を行うなど、より一層の給与の適正化に努める。

#### 人口1人当たりの地方債残高

・類似団体平均を下回っているが、今後も新規の地方債発行には財政状況を十分に考慮し、類似団体平均を上回ることがないように努める。

#### 実質公債費比率

・高利率の地方債を繰上償還してきたことから、類似団体平均を大きく下回る9.6%となっている。しかし、今後上昇が予想されることから、白石市総合計画のもと、緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業を行うなど健全な財政運営に努める。

#### 人口1,000人当たりの職員数

・これまで定員適正化計画を着実に実行してきたため、類似団体平均を下回っている。平成22年4月1日における市全体の総定数については、平成17年4月1日現在の総定員に対して4.6%を目標として職員削減に努める。